



造船業界のリーディングカンパニーを目指し、「技術」と「ものづくり」で社会の発展に貢献します。

2013年1月、ユニバーサル造船とアイ・エイチ・アイマリンユナイテッドが統合し、ジャパン マリンユナイテッド(JMU)が誕生してから、2年が経過しました。

この間、統合により結集・強化された「開発・技術力」、「営業力」、「大型建造設備」などの経営資源を最大限に活用し、商品ラインアップの拡充を図るとともに、省エネ・環境負荷低減技術の開発にいち早く取り組んでまいりました。今後もお客様のニーズに応える優れた性能と品質の船をタイムリーに提供してまいります。

代表取締役社長(CEO) 三島 慎次郎

ジャパン マリンユナイテッド

JMU エコシップ続々竣工



SHOYOH

2013年7月に引き渡した97,000DWT石炭運搬船「SHOYOH」が日本船舶海洋工学会主催のシップ・オブ・ザ・イヤー2013で、大型貨物船舶部門賞を受賞しました。

「SHOYOH」は大型散積み貨物船として、世界で初めて二重反転プロペラ(CRP)を搭載し、新開発の船尾付加物と合わせて燃費が約16%向上しました。また主機関の排ガスを利用する排ガスパワータービン発電により、発電用の燃料・環境負荷が半減しました。

JMUは2014年もさまざまな船型のエコシップを世に送り出しています。5月に国内の港湾規制緩和を先取りした最新鋭の超大型タンカー(VLCC)シリーズの1番船「ENEOS OCEAN」、7月にはダンケルクマックスと呼ばれる大型の散積船のGシリーズ、G182BCの1番船「PELOREUS」を、そして12月には「FUTURE」シリーズの新船型「FUTURE 60」バルクキャリアの1番船「IVS NARUO」を竣工し、お客様に引渡ししました。JMUのエコシップは、最新の解析技術を用い最適な船体形状を追求し

開発し、最新の省エネ技術を用いて優れた環境性能を発揮しています。EEDIという船舶の国際的なエネルギー効率設計指標で、ベースラインから20%を超える低減を達成し2020年の規制値をクリア、お客様から高い評価を得ています。



ENEOS OCEAN



IVS NARUO



PELOREUS

高効率ハイブリッドCRP推進システムを搭載した大型フェリーを受注

JMUは統合後初めて大型フェリーを2隻受注しました。今回受注した船は二重反転プロペラ推進システムに加え、各種省エネ付加物の導入、最適船型の開発により優れた低燃費性能を達成しています。2隻とも2017年の竣工後は茨城県・大洗港～北海道・苫小牧間の定期航路に投入される予定です。



ハイブリッドCRP推進システム

Highlights 2014

2014年4月

- 「海洋・エンジ事業本部」、「ライフサイクル本部」新設
- 14,000TEUコンテナ船を8隻受注

5月

- 最新鋭VLCC「ENEOS OCEAN」が命名・引渡し

6月

- 「SHOYOH」が「シップ・オブ・ザ・イヤー2013 大型貨物船舶部門賞」を受賞

7月

- 次世代省エネ型バルクキャリア(G182BC)の1番船「PELOREUS」が引渡し

- 津田尚輝IHIMU元社長が海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣賞)を受賞

10月

- 高効率ハイブリッドCRP推進システムを搭載した大型フェリーを受注

- JBS社員乗松聖矢さん「アジアパラ大会・ウェルチエアーラクビー」で金メダル

12月

- 省エネ船、人気商品「FUTURE 60」の1番船「IVS NARUO」が引渡し

2015年3月

- 中型掃海艇「はつしま」が引渡し
- 国内最大級ヘリコプター搭載護衛艦「いずも」が引渡し